

第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管	市長公室	局	広報	部	広報	課
項目	2-1	多様な担い手によるシティプロモーションの推進				
実施内容	シティプロモーション認定事業など、行政単体ではなしえない民間主体の効果的・効率的なシティプロモーション活動を推進するため、担い手の拡充と堺のポテンシャルを発掘する事業を継続的に実施します。					
目標	シティプロモーション認定事業の採択事業数 平成26年度 4件、平成27年度 4件、平成28年度 5件、平成29年度 6件 (平成28年度追記) 平成29年度から、大幅な事業の変更を行うため、目標件数を2件とする。					
工程	当初予定	26年度	27年度	28年度	29年度	
		事業募集を全国の事業者幅広く周知し、応募数の増加につなげる				
工程	進捗状況 (実績・見込)	26年度	27年度	28年度	29年度	
		主に堺市内で活動している市民団体、企業、個人事業主などをターゲットに広く周知し、応募数の増加につなげる ●募集説明会やワークショップの実施				
数値目標	採択事業数	見込	26年度	27年度	28年度	29年度
		実績	4件	4件	5件	2件
実績	28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に堺市内で活動している市民団体、企業、個人事業主などをターゲットとした募集説明会（オープンフォーラム）及びワークショップを実施</li> <li>平成27年度の採択事業者のインタビューを掲載したリーフレットを作成</li> <li>過去及び今年度の採択事業者同士のネットワークづくりの場を創出</li> <li>外部の有識者と今年度の採択事業者によるネットワークづくりや「食」の情報発信などをメインテーマとした意見交換会を実施</li> </ul>				
		単年度の 効果額見込 及び実績	見込	26年度	27年度	28年度
評価	28年度	C	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業開始から4年が経過した本事業は、これまで10事業の認定を行い、シビックプライドの醸成や市の認知度向上に一定の成果を果たした。</li> <li>今後は、「世界遺産登録」及び「大河ドラマの放送」等に向け、交流人口の増大が予想される中、市外の人々を堺に惹きつけ、滞留させるためのプロモーションが今から必要。</li> <li>人々を惹きつけ、滞留させる体験として「食（料理）」は必須だが、堺にはいわゆるご当地料理がない。</li> </ul>		
			改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産登録等に向け、今後増加が予想される観光客等を市内に滞留させるために必要な「食（料理）」を通じたシティプロモーションを行うための制度への見直しを行う。</li> </ul>		
評価基準	A:目標を上回って達成 B:目標を概ね達成 C:未達成					
備考						